

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成 2 2 年 6 月

(平成 2 2 年 5 月末調査)

平成 2 2 年 6 月 1 7 日
長野県岡谷市郷田二丁目 1 番 8 号

諏 訪 信 用 金 庫
経 営 相 談 室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0 2 6 6 (2 3) 4 5 6 7

FAX 0 2 6 6 (2 3) 8 0 4 4

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【4月】	諏訪公共職業安定所管内	0.49倍	+0.08ポイント
手形交換高【5月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,840枚	+747枚
	金 額	10,050百万円	+1,962百万円
	うち不渡り 発生状況	枚 数	7枚
	金 額	1,711千円	+1,711千円
電力使用量【5月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	55,962 MWh	+5.2%
	高压電力計	93,377 MWh	+11.6%
	合 計	149,339 MWh	+9.1%
車庫証明取扱件数【5月】(諏訪地方合計)		820件	+0.7%
新設住宅着工戸数【22年4月】(諏訪管内)		96戸	+21.5%

本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

製造業

自動車部品関連の下請企業の受注状況は、総体では引き続き回復傾向であるが製造部品により大幅なコストダウン要請や海外生産への移行がきかれる。工作機械・専用機では、アジア向けの機種で受注の増加がみられるが、大型機種の動きは引き続き弱含みで推移している。金型関連では、新規の受注が減少している。

諏訪地域の製造業の受注状況は、企業により区々であるもののリーマンショック前の8~9割程度まで戻している企業が多い。ただし、親企業からのコストダウン要請や一部の原材料価格の上昇により収益性の回復が遅れている。

また、ギリシャ危機の影響により対ドル・対ユーロとも円高傾向になっており、株価の下落も含め今後の動向を不安視する声がかかれる。

商業

諏訪地方の5月の天候は寒暖の差が激しく、大型連休中は晴れた日が多く気温も上昇したものの、中旬や下旬には一転して強い寒気の南下から気温は平年を下回った。

御柱祭の里曳きが行われ、オードブル類や清酒などの御柱関連商材の動きは引き続き堅調であった。衣料品は気温の上昇した初旬には夏物衣料に動きがみられたが、下旬は気温が一転して下がったことから期待したクールビズ関連商品の動きは低調であった。食料品では、気候の変化が激しかったことから、売れ筋商品が日ごとに変わり各店舗では品揃えに苦慮していた。また、宮崎県の口蹄疫問題では、BSE問題のときのような消費者の肉離れはきかれない。

観光業

諏訪大社御柱祭の「里曳き」が行われ、上社・下社を合算した合計6日間の人出は88万人と大変な盛り上がりを見せた。また、4月に行われた「山出し」の6日間を合算した合計12日間の人出は192万5千人と前回(平成16年)の178万6千人から+13万9千人(+7.8%)増加し過去最高を記録した。

各観光地への入り込みは御柱祭の期間や大型連休などの特定日に集中しており、ホテル旅館の宿泊者数は月間では前年を下回った施設が多い。

また、ドライブインへの来店客数は御柱祭効果から前年に比べ大幅に増加しているも、日帰り客の比率が高く地域への波及効果は限定的であった。

建設業

市町村の5月の発注工事は、建築工事8件103百万円、土木工事・下水道工事35件162百万円、その他工事13件242百万円の合計56件509百万円で、前年同月比では件数は+8件の増加、契約金額は+101百万円の増加となった。県関係の5月の公共工事(地元業者受注分)は3件50百万円で、平成22年4月~5月の累計契約は7件87百万円と前年同期累計比では件数は6件の減少、契約金額は81百万円の減少となった。

民間工事は、諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数は96戸で前年同月比では+17戸(+21.5%)の増加となったものの引き続き弱含みで推移している。リーマンショックの影響により、延期となっていた工場の増設案件等に幾分動きがみられ始めたとする声がきかれる。

雇用

諏訪地域の4月の有効求人倍率は、前年同月を+0.08ポイント上回り0.49倍と31ヶ月振りに前年同月を上回ったものの、依然として低水準で推移している。なお、全国と同倍率は0.48倍、長野県と同倍率は0.55倍となっている。

また、諏訪地域の4月の新規求人(全数)は1,036人で前年同月比+77人(+8.0%)の増加、新規求職者数は1,526人で前年同月比166人(9.8%)の減少となっている。産業別の前年同月比の新規求人数では、製造業は増加したが、サービス業、飲食店・宿泊業は減少している。

なお、4月の1件10人以上の人員整理は0件、事業主都合による雇用保険資格喪失者は180人と前年同月より326人減少、前月より+86人増加した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	受注は増加しており、LED照明等の省エネ家電向けの需要増加が期待される。
コンデンサー	受注は比較的安定して推移している。
プリンター	アジア向けのサーマルプリンター等で受注の増加がみられる。
コンタクター・リレー	受注は安定している。

2. 輸送用機械

自動車	総体の受注状況は引き続き回復傾向であるが、製造部品により大幅なコストダウン要請や海外生産への移行がきかれる。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の受注は、引き続き回復傾向である。
船外機	新興国向けの機種を中心に受注は回復している。

3. 一般機械

工作機械・専用機	アジア向けの機種で受注の増加がみられるが、大型機種の動きは引き続き弱含みで推移している。
搬送用機械	大型機種の受注は引き続き弱含みで推移している。
金型	新規の金型の動きは低調である。
ダイカスト	ガス器具部品の受注は引き続き堅調である。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの4月の生産台数は1,138万台で前月比+5.2%増加、前年同月比+34.6%増加となっている。4月の出荷台数は国内出荷85万台、海外出荷1,005万台で、出荷台数全体では前月比-2.5%減少、前年同月比+22.0%増加となっている。(カメラ映像機器工業会) 地域の下請企業の受注は比較的安定している。
プロジェクター レンズ	メーカーの販売状況は、北米の教育機関や中国向けが好調である。 足元の受注状況は幾分改善している。

5. 織 維

ニット	夏物から秋冬物への端境期であるが、例年よりも夏物の追加注文が減少しているとの声がきかれる。
-----	---

6.食 品

寒天

出荷は堅調に推移している。また、御柱祭や大型連休などは観光施設での個人客向けの売りが伸びた。

味噌

需要の減少期となるが、出荷は比較的順調に推移している。

7.製 材

諏訪地方の4月の木造住宅着工戸数は75戸で、前年同月に比べ+3戸の増加となったものの、引き続き弱含みの状況で推移している。

8.建 設

公共工事

5月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、施設課関係工事1件、その他土木工事2件の合計3件、契約金額50百万円となっている。平成22年4月～5月の累計契約は7件87百万円と前年同期累計比では件数は6件の減少、契約金額は81百万円の減少となった。市町村の5月の発注工事は、建築工事8件103百万円、土木工事・下水道工事35件162百万円、その他工事13件242百万円の合計56件509百万円で、前年同月比では件数は+8件の増加、契約金額は+101百万円の増加となった。

民間工事

諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数は96戸で前年同月比では+17戸(+21.5%)の増加となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は前年同数の59戸、「貸家」は+15戸増加の35戸、「分譲」は+2戸増加の2戸となっている。

また、長野県全体の4月の新設住宅着工戸数は766戸で、前年同月比14.3%の減少となっている。なお、前年同月比の利用関係別では、「持家」が493戸で20.4%減少、「貸家」が212戸で+6.5%増加、「分譲」が60戸で7.7%減少となっている。

リーマンショックの影響により、延期となっていた工場の増設案件で幾分動きがみられるようになってきた。

9. 商 業

諏訪地方の5月の天候は寒暖の差が激しく、大型連休中は晴れた日が多く気温も上昇したものの、中旬や下旬には一転して強い寒気の南下から気温は平年を下回った。

オードブル類や清酒などの御柱関連商材の動きは引き続き堅調であったが、安定しない気候の影響などから衣料品や一般食料品では品揃えに大変苦慮した。また、御柱祭後も心配したほど、急激な消費の落ち込みはないとする声がきかれる。

衣料	気温の上がった初旬にはTシャツやポロシャツなどの夏物衣料に動きがみられたが、下旬は気温が一転して下がったことから期待したクールビズ関連商品の動きは低調であった。
食料品	御柱祭の接待用のオードブル類等の動きは好調であった。野菜の価格は平年並みとなったものの、気候の変化が激しかったことから各店舗では品揃えに苦慮した。また、岡谷市内では新規店舗の出店により競争が激しくなっている。
家電製品	薄型TVはキッチン用などの2台目需要として、小型機種に動きがみられる。
自動車	諏訪地方の5月の車庫証明件数（軽自動車除く）は820台で前年同月比+6台（+0.7%）増加したものの、一昨年の1,019台の水準には届いていない。一部ではあるが、暫く低調であった高級車に動きがみえ始めたとする声もきかれる。
ホームセンター	家庭菜園やプランター用の野菜苗の売れ行きは前年を上回った。

10. 観 光

諏訪大社御柱祭の「里曳き」が行われ、上社・下社を合算した合計6日間の人出は88万人と大変な盛り上がりを見せた。また、4月に行われた「山出し」の6日間を合算した合計12日間の人出は192万5千人と前回（平成16年）の178万6千人から+13万9千人（+7.8%）増加し過去最高を記録した。

各観光地への入り込みは御柱祭の期間や大型連休などの特定日に集中しており、ホテル旅館の宿泊者数は月間では前年を下回った施設が多い。

上諏訪温泉	御柱祭の里曳き期間や大型連休の集客は順調であったが、平日の集客低下などにより総体の宿泊客数は前年を10%程度下回った。
蓼科・白樺湖・車山	団体客の受け入れのあったホテル旅館は前年並みの宿泊客数を維持するも、それ以外の施設では前年を10%程度割り込んだところが多い。
下諏訪温泉	御柱祭の下社里曳き効果により宿泊客は前年に比べ20%程度増加しているホテル旅館が多いものの、引き続き日帰り宴会の減少がきかれる。
諏訪大社	上社・下社合わせた5月の参拝者数は約146千人で、御柱祭の効果から前年同月比約+98千人と大幅に増加した。